

## 令和5年度「富山県地域おこし協力隊表彰」受賞者 決まりました!

今年も「富山県地域おこし協力隊表彰」の季節がやってまいりました。この表彰は、地域おこし協力隊員の意欲向上や地域への定住・定着につなげるとともに、県民や地域に地域おこし協力隊制度への理解を深めてもらうことを目的としています。今年からは、募集対象を「現役隊員」と退任後概ね5年以内の「元隊員」の2部門となりました。

そして・・・、今年の受賞者は、鈴木由香利(すずき・ゆかり)さん(立山町隊員)と服部大介(はっとり・だいすけ)さん(元朝日町隊員)と決まりました!

鈴木さんは、グリーンパーク吉峰で農業を学びながら、お住まいの釜ヶ淵地域の方々と連携し、着任当初からやりたいとおっしゃっていた菓膳カフェの夢を実現されました。表彰式には、釜ヶ淵みらい協議会・事務局長の村井一仁(むらい・いちひと)さんもおいでになられ、お祝いいただきました。

一方、服部さんは、現役の時に引き続き、退任後も農業に従事しながら新しいチャレンジを行い、養蜂や焼き芋などマルチワークを通じて、「稼げる農業」を実現されました。全国でも成功事例が少ない農業分野での定住につながっています。

表彰式は、2月21日(水)午後、富山県美術館内レストラン「BiBiBi&JURULi」で行われました。あいにくのお天気でしたが、富山県富岩運河環水公園が見渡せるステキな会場は明るい雰囲気です。

現役隊員、OB・OG、市町村や中間支援団体の協力隊担当者の皆さんなど、約40名の方々が見守る中、蔵堀祐一(くらほり・ゆういち)副知事から、おふたりに表彰状と副賞が手渡されました。



蔵堀副知事をはさんで  
鈴木さん(左)、服部さん(右)

鈴木由香利さん、服部大介さん、受賞おめでとうございます!

### 鈴木由香利さん【受賞者:現役隊員の部】

この度は地域おこし協力隊の表彰に選考していただき、誠にありがとうございます。この栄誉は私一人のものでなく、立山町の協力隊として移住してから関わった全ての方々と共に頂いたものだと思います。



長年の夢だった民泊とカフェを開業出来たのは、移住したいと思っていた富山に協力隊として採用され、研修先で地域の方たちと面識が出来、地域活性化の有志メンバーに参画させていただけたのが大きかったと思います。

これからは地域の方や観光で訪れた人、移住を考えている人誰もが気軽に立ち寄れる場を、そして地元食材を使った身体に優しいカフェを目指していきたいと思っています。

### 服部大介さん【受賞者:元隊員の部】

この度は「地域おこし協力隊表彰」を受賞し、嬉しく思っております。農業未経験で移住をしましたが、一から沢山のことを教えてくださった朝日町の皆さんには心より感謝しております。



私が移住をして実現をしたかったことの1つは複数のなりわいを掛け合わせて働く「複業」です。現在は農事組合法人でのアルバイトの他、養蜂・さつま芋の栽培・つぼ焼き芋の販売・ひょうたんの栽培/加工などを行っております。しかし、まだまだ挑戦したいことは山ほどあります。

真面目に頑張っていればきっと誰かが見ていて応援してくれると思います。これからも地域との関係を大切にしながら自分の幸せを追い求めていきます。

## 蔵堀祐一副知事と交流会

表彰式に引き続き、みなさんで交流の機会を持ちました!現役隊員、OB・OG、自治体関係者がグループに分かれ、おしゃべりを楽しむ輪の中に、蔵堀祐一(くらほり・ゆういち)副知事と竹内延和(たけうち・のぶかず)地方創生局長も加わりました。

「なぜ富山で協力隊?」「着任までどれくらいかかった?」「今やっている活動は?」「大変なことは?」等々、限られた時間でしたが、本音ベースのおしゃべりに会場は大盛り上がり。また、スピード感ある隊員と調整や判断に時間を要する行政との関係、悩みごとの相談相手、異動後の関わり方など、行政として考えていかなければならない点も多く出てきました。

来年度からは富山県OB・OGネットワークが相談、研修、交流会といった県の業務を担っていきます。隊員の皆さんが少しでも活動をしやすい環境づくりを進めるべく、県もネットワークのみなさんや自治体担当者と連携をしております。



交流会の様様

### 着任・退任情報(令和5年12月1日~令和6年1月31日)(敬称略)

#### <<着任>>

田中 啓悟(たなか・けいご) 滑川市 空き家情報バンク運営・情報発信  
朽木 亮介(くちき・りょうすけ) 射水市 公共交通コーディネーター

#### <<退任>>

藤本 雄也(ふじもと・ゆうや) 魚津市 農業研修

# ●●●富山県地域おこし協力隊ネットワーク発足●●●

先般よりご案内のとおり、富山県でも OB・OG ネットワークを立ち上げるため、今年度初めから OB・OG 有志のみなさんにご協力をいただき、準備を進めてきました。その OB・OG ネットワークが2月20日(火)について発足しました!

21日(水)の表彰式に先立ち執り行われた設立式では、澤田典久(さわだ・のりひさ)代表から設立の経緯、今後の活動方針などについてお話がありました。また、富山県地域おこし協力隊ネットワーク設立にあたって、伴走支援をいただきました藤井裕也(ふじい・ひろや)さん(協力隊サポートデスク専門相談員チーフ)とネットワーク役員、また参加者も加わって、今後の取り組みについて議論を深めました。

富山県地域おこし協力隊ネットワーク設立にあたっては、(一社)移住・交流推進機構(JOIN)から専門家派遣などサポートをいただき、また設立式にあたっては、大久保博貴(おおくぼ・ひろたか)さん(JOIN 参事、福井市から出向)にもご同席いただきました。



ネットワーク発足にあたって

## ネットワーク役員一覧



**澤田典久(さわだ・のりひさ) 代表**  
元氷見市隊員、ソライロマネージャー

**佐藤みどり(さとう・みどり) 副代表**  
元立山町隊員、NPO 法人  
立山クラフト舎代表理事、陶芸家



**中村静恵(なかむら・しずえ) 理事・事務局長**  
元魚津市隊員、魚津市移住コンシェルジュ



**井上浩延(いのうえ・ひろのぶ) 理事**  
元南砺市隊員、Cucina Nobu オーナー・シェフ

**服部彩子(はっとり・あやこ) 理事**  
元朝日町隊員、NPO 法人コクリエ  
スタッフ



**有吉直弘(ありよし・なおひろ) 監事**  
上市町隊員



## 澤田典久代表からメッセージ

ネットワークは、地域おこし協力隊の受入・育成・定着を進めていくことを目的とし、富山県内で地域おこし協力隊として活躍していた OB・OG が中心となって設立した一般社団法人です。

受け入れ自治体や地域とのミスマッチ、任期途中での退職、任期後の定住への悩みなどの課題解決に向け3つの事業を核として活動いたします。

- ① 受け入れ自治体に対する支援事業(導入及び伴走支援事業)
- ② 現役隊員に対する支援(活動・交流・定着支援事業)
- ③ OB・OG に対する支援(定住支援事業)

次年度からの活動に向け現在企画調整を行っておりますので、今後ネットワークをご利用いただきますようお願いいたします。



富山県  
地域おこし協力隊  
ネットワーク  
TOYAMA LOCAL VITALIZATION COORDINATOR NETWORK

## スピン・オフ・バージョン☆ ちょっこしお邪魔します!



家具・雑貨のお店「雑物(ざつもの)ブギー」。2022年10月、伏木に誕生しました。オーナーは、射水市隊員の山田奈津子(やまだ・なつこ)さんのパートナー山田圭介(やまだ・けいすけ)さんです。

このちょっと小粋で、記憶に残る店名は、圭介さんが命名者。某局朝の連ドラを見ている方はお気づきの通り、笠置シズ子さんの名曲「買物ブギー」をもじってつけたのだそうです。お店の名前を聞いただけで、ウキウキ、ワクワク、楽しくなりませんか?

お家を探していた山田さんご夫婦が、このお店をやることに決めたのは、なんと建物のレイアウトに惚れ込んだから。いろいろとアイデアが湧き出るレイアウトだったんです。実際、店内に一步入ると、楽しいワンダーランド。時間を忘れてしまいます。好きなものが近くにあると嬉しいという圭介さんがセレクトした数々の素敵な家具や雑貨が、もうたくさん揃っています。特に DULTON ファンの方は、要チェック、必見のお店です。

富山生まれの奈津子さんと一緒に富山にやってきた圭介さんは東京のご出身。海も山も近くて、地域の人が子どもを見守る環境もある伏木がとても気に入っているとのこと。お店には、カフェに加えて、キッズスペースもあります。最近、お店で DJ イベントを行ったというおふたり。音楽イベントやフードイベントなど、これから人が集まる楽しい場所にしたいということです。

そして、そんなおふたりは能登半島地震で大きく被災した伏木のために、先日、新高岡駅南口公園で行われたチャリティーマルシェに出店しました。

伏木で被災したお店の中には大変厳しい状況のところもあるとのこと。地元の有志が集まり、どう復興できるか、話し合いも始まっているようですが、私たちも自分ごととして関心を持ち、できることから始めていけたらと思います。

奈津子さん、圭介さん、お邪魔しました!



店内



奈津子さん・圭介さんご夫妻



奈津子さんオススメ  
ロボット型  
ドライバーはいかが?

### お店詳細

住所: 高岡市伏木一宮 1-9-6  
電話: 0766-44-7181  
営業時間: 12:00~18:00  
定休日: 木曜日

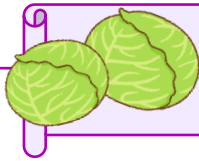


←HP



Instagram →





## 隊員のWA! 隊員ご紹介コーナー

### 梅澤五月さん(朝日町地域おこし協力隊)



梅澤五月(うめざわ・さつき)さんは、令和4年3月に朝日町の地域おこし協力隊に着任され、3年目に入られるところです。今号では、梅澤さんの隊員としての活動に加え、今後のご計画や梅澤さんならではの農業への思いをお伺いしました。

梅澤五月さんは、朝日町の農業隊員。既に2年間、活動に取り組んできています。もともと富山市の方で、大学進学に伴い上京。ご家族の介護の必要もあり、30数年ぶりに富山に戻られました。東京では、テレビ情報誌の編集や介護職を長く務められたご経歴の持ち主です。

ご家族を見送られた後、やりたかったことをやろうと一念発起した梅澤さん。その時に思い浮かんだのは、20代半ばに、仕事の取材で訪れた千葉の有機農場での出来事。取材に訪れてくれた梅澤さんに農場の方は、お昼ご飯をふるまってくれました。そこで出てきたのが、なんと山盛りのキャベツの千切り!でも、そのキャベツの千切りの美味しかったこと!!まるで「宇宙とつながったような」異次元の美味しさだったのだそうです。口に入れた瞬間、全身の細胞が騒めいた、その時の経験を自身の野菜作りを通して、ぜひ再現したいと思ったことが農業をやろうと思ったきっかけになりました。

着任後、夏は朝日町の野菜農家さんにお世話になり、きゅうりやネギといった野菜作りと一緒にされながら、土づくりなど農業の知識やスキルを学んでこられました。そして、農商工連携にご関心をお持ちの梅澤さんは、冬は食彩あさひで食品加工のお仕事に従事。同じ野菜作りといっても、それぞれの農家さんは、それぞれの考え方、価値観を大切に野菜作りにあたっておられ、さまざまな方法を学ぶことはとても勉強になったという梅澤さん。ご自身も、学びを通して、自身のやり方を見つけ、選択していけたらとおっしゃっています。

梅澤さんの任期は、残り1年。現在、町が農業研修生のために建設した農業研修宿泊施設「農学舎」で他の農業隊員の皆さんと生活をされていますが、今後、山崎地域に居を定めたいとお考えです。山からきれいな沢の水が流れ、地域の皆さんも意欲的な方々が多く、とても気に入っているそうです。

作りたいのは、マイクロ野菜(極小野菜)。小さなトマトやミニきゅうり、丸人参など、珍しい色、形、大きさの野菜たちを作って、飲食店向けに出していきたいそう。そして、商品のキャッチフレーズも検討中。現在のアイデアは「食卓にメルヘンを」です。かわいい野菜で飾られた食卓で取る食事、考えただけでもワクワクします。野菜嫌いの子供もたちも、梅澤さんの「メルヘン野菜」なら、あっという間に野菜好きになりそう。

意欲的に、さまざまな研修に参加し、参考になる取り組みをされている会社さんに視察にも出かけている梅澤さん。オーガニックな土づくりや水にこだわって作り出される梅澤さんの「メルヘン野菜」が出荷される日が待ち遠しいです。



朝日町・農業隊員の皆さんと  
(真ん中が梅澤さん)



あさひ舟川 春の四重奏  
イベントに参加



きゅうり畑で



上市町オーガニック  
マーケットに出店  
(ラディッシュ)

## 自治体担当者が隊員さんをご紹介! コーナー

今回は **小矢部市さん** からです! 昨夏に小矢部に着任されたおふた方をご紹介します。

### 【梶内 昌史さん(就農関係)】



神奈川県横浜市から、昨年7月に夫婦で移住してこられました。現在は、石川県との県境の集落にある古民家を購入し、家の改修作業を行いながら市内の農業法人で農業研修を受けています。また耕作放棄田の再生をめざし日々奮闘中です! 梶内さんの活動に目が離せません。

Instagram 梶内隊員アカウント:  
@oyabe\_satoyamalife

### 【中山 由佳理さん(シティプロモーション関係)】



富山市出身で38年ぶりに東京都から富山県に戻ってこられました。普段は、小矢部市の魅力をSNSで発信するため、カメラを持って市内を駆け巡っています。撮影した写真は、Instagramで紹介中! 皆様ぜひInstagramをチェックしてみてくださいね!

Instagram 小矢部市公式アカウント:  
@oyabe365

Instagram 中山隊員アカウント:  
@oyabe\_daily



## <隊員が見つけた富山の魅力フォト>

タイトル:「黄昏時 冬の使者と立山連峰」

撮影場所:舟川新地区

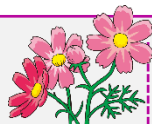
冬の使者と呼ばれている「コハクチョウ」。黄金色に染まった立山連峰をバックにコハクチョウ 5 羽は静かに田んぼに佇んでいました。

撮影した場所の隣は、一度見れば魅了されること間違いなし!「春の四重奏」の会場となっています。今年は、4/1(月)~4/14(日)が開催期間ということなので、ぜひ足を運んでみてください!朝日町でお待ちしております!

撮影・文章:後藤 憲一郎さん  
(ごとう・けんいちろう)  
朝日町隊員



### 夢の平コスモス荘に ちょっこしお邪魔 しました!



砺波市隊員の太田幸宏(おおた・ゆきひろ)さんが管理運営をされている「夢の平コスモス荘」にお邪魔してきました。

太田幸宏さん

太田さんは愛知県のご出身、奥さまの県内就職にあわせ、昨年4月に砺波市に移住されました。

夢の平コスモス荘は、夢の平スキー場に隣接する宿泊施設です。お邪魔した日は、2月上旬の寒波の日。あつという間に雪が降り積もり、冬ならではの景色が広がっていましたが、今年は暖冬の影響で、雪も少なかったそうです。



でも、コスモス荘の魅力は冬だけではなく、四季折々の美しい景色が広がる地域。コスモス荘でも、ゴールデンウィークには「水仙そば祭り」、秋には「コスモス・ウォッチング」と多くの人が集まります。



美しい景色を眺めながら、ゆったりと1日を過ごす。そして、レストランで地元の美味しい食材を楽しむ。そんな中山間地域ならではのホッとするひと時を過ごせそうな気がします。

レストランは宿泊客以外の方も利用できます。最近、新しい料理人の方も、チームに加わり、コスモス荘ならではの料理プランを検討中とのこと。そして、建物内には、子どもたちが遊べるトランポリン室に、キッズ・スペースもあります。

4月6日(土)からは BBQ 営業も始まります。予約は既に始まっていますので、お友だち、同僚、ご家族のみなさんと、春を楽しみに、お出かけされてはいかがでしょうか。

太田さん、お邪魔しました!



#### 施設詳細

住所: 砺波市五谷 160 番地  
電話: 0763-37-2323  
休日: 水曜日



←HP

Instagram →



### 利賀ストア&利賀の山カフェに ちょっこしお邪魔 しました!

南砺市隊員の正木友莉奈(まさき・ゆりな)さんの活動拠点「利賀地域づくり協議会」が開いた売店とカフェにお邪魔してきました。

JA となみのの売店スペースを引き継いだものということで、中山間地域対策課が行う「話し合い事業」の結果、生まれました。

置いてあるのは、数々の日用品に、食品など。単にお店というだけでなく、災害に備えて備蓄の機能も果たしています。そして、イートインのカフェ・スペースも備えていますので、地元の方々にとって、食事やカフェ・メニューを楽しみながらの交流ス



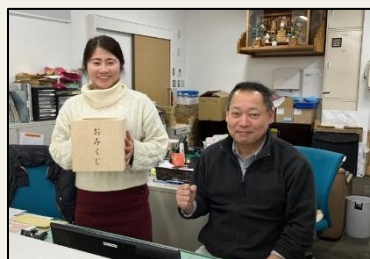
ペースの機能も果たします。

カップ麺の種類がとっても充実していますが、これは若者視点を取り入れたもの。そして、もちろん、地域の特産品を買いたいなら、ココ!正木さんも開発に携わっている「TOGA のおやき」に、赤かぶの漬物、そば、山菜、クロモジ茶といろいろな特産品が手に入ります。

お邪魔している間もひっきりなしに地元のお客さんが訪れ、正木さんに声をかけていきます。地元の方々にとって、欠かせないお店であると感じます。

利賀に行かれる節には、ぜひお立ち寄りください。

正木さん、お邪魔しました!



←正木さんと笠原事務局長  
(お店隣の地域づくり協議会にて)

#### 施設詳細

住所: 南砺市利賀村 171  
電話: 0763-68-2016  
営業時間:  
7:30~18:30 (平日)  
10:00~15:00 (週末祝)



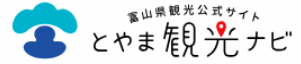
# ちょっと耳より情報 1 ～学びの機会 観光・農業編～



今号の「ちょっと耳より情報」では、県内で行われている各種研修（観光、農業、創業）をご紹介します。

ご自身の活動に活かしたい、退任後の準備を始めたい、でも、どこでスキルや知識を学んだらよいのだろうかという情報をお探しのみなさん、ぜひ HP をご確認ください、お申し込みください。

## ●●とやま観光塾●●



富山県では、上質で満足の高い「選ばれ続ける観光地」となるために、

- ① おもてなし力の向上
- ② お客様に満足いただける観光ガイドの育成
- ③ 地域資源を活かしてインバウンドツーリズム等を企画できる人材の育成

を目指し、令和6年度も「とやま観光塾」を開講する予定です。  
新年度に入りましたら、塾生の募集を開始しますので、県のHPをぜひご確認ください。また、何かご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

### <お問い合わせ、願書配布・提出先>

とやま観光塾 事務局(富山県 地方創生局 観光振興室内)  
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
電話:076-444-3500 FAX:076-444-4404  
ホームページ: <http://www.info-toyama.com/kankomirai/>  
E-mail: [toyama\\_kanko@esp.pref.toyama.lg.jp](mailto:toyama_kanko@esp.pref.toyama.lg.jp)



※「とやま観光塾」は、地域おこし協力隊のみなさんの間でも人気の講座です。ニーズにあわせ、複数のコースが用意されています。過去には、ゲストハウスの開設、観光・体験ツアーのデザイン実施の分野で活動されている隊員さんが本講座を受講されており、学んだ知識やスキルを早速に活かしておられます。先輩隊員のお声もぜひ聞いてみてはいかがでしょうか。

とやま観光ナビ  
HPはこちらから⇒



## ●●とやま農業未来カレッジ●●

とやま農業未来カレッジでは、富山県の農業の担い手を育成するため、就農希望者が本県の営農条件に即した農業の基礎知識や実践的技術を体系的に習得できる研修を実施しています。

研修には、以下のコースがあります。

●**農業経営塾(短期コース)**: 冬季の農閑期(12月~2月)を利用して、すでに就農している青年農業者を対象に、農業経営の発展に資する農業知識やノウハウなどを農業内外の著名な専門講師や先進的経営体から学びます。(令和5年度の例 受講期間:12月~翌2月(21日間)、募集期間:9月~11月、対象者:青年農業者等、参加費:900円(テキスト代として))

●**公開講座**: 農業をめぐる環境が大きく動いている中で、農業者が時代の変化に応じた経営発展ができるよう、高度な農業知識や先進的技術について、県外の著名な専門講師から学びます。(令和5年度の例 小売り業界の専門家から商品開発について学ぶ、ICT園芸講座)

●**通年研修(1年制、4月~翌年3月)**: 座学講義、作物実習、農業機械操作演習、特別研修、など

●**通年研修(2年制)**: 令和7年度から、より実践的な園芸を学ぶことができる“2年目コース”が設置されます。

令和6年度の農業経営塾、公開講座のご案内は詳細が決まりましたら、HPに掲載されます。ぜひチェックください。お問い合わせ先は、以下までどうぞ。

### <お問い合わせ、お申し込み先>

とやま農業未来カレッジ(公益社団法人 富山県農林水産公社内)  
〒939-8153 富山市吉岡108  
電話:076-461-3180 FAX:076-461-3185  
ホームページ: <https://taff.or.jp/nou/college>  
E-mail: [nougyou-college@taff.or.jp](mailto:nougyou-college@taff.or.jp)

カレッジHPはこちらから⇒



かんはるあなたを応援します!



とやま就農ナビ

- ・何から始めたらいいの?
- ・資金はどうしたらいいの?
- ・まずは農業を体験したい!
- ・農業の求人情報を知りたい!

等々、あなたのいろんな疑問にお答えします。「とやま就農ナビ」をぜひチェックください。

とやま就農ナビは  
こちらから⇒



※既に農業分野で活動している隊員の皆さんには、農業経営塾がおすすめです。農閑期を活用して、実践的かつ専門性の高い講義を受けることができます。

通年研修も受講することができますが、長期にわたるため、まずは所属先の自治体担当者にご相談ください。



ちょっと耳より情報 2  
～学びの機会 創業編～



創業塾、ビジネスプランの作り方について学べる講座をご紹介します。ちなみに、前号でご紹介しました施設(SCOP TOYAMA、TASU、Himi-Biz)でも各種のビジネス系セミナー、講座が行われておりますので、ぜひチェックしてみてください。

●●富山県商工会連合会・創業塾●●

富山県商工会連合会 HP はこちらから⇒



【商工会の創業支援(創業塾の開催等)】

「商工会とやま経営サポートセンター」は、創業予定の方や創業間もない方、創業を志す起業家をバックアップするために、個別相談指導・セミナー・講習会・創業塾の開催などを行っています。

令和6年度も創業塾を2回開催の予定です。詳細は、富山県商工会連合会または最寄りの商工会へお問い合わせください。

【令和6年3月6日(水)・9日(土)創業カフェ(ミニセミナー・交流会)】

富山県商工会連合会(商工会とやま経営サポートセンター)の主催にて3月6日、3月9日の計2回開催するミニセミナー・交流会です。

創業に興味はあるけど、具体的なところはこれから。そんな方を対象としたミニセミナー&交流会。「事業計画ってどうやって作ればいいのか?」「ホームページはどうしよう?」「創業で使える補助金はあるの?」こうした疑問や不安にお答えするとともに、同じ悩みを持った仲間との交流もできます。

参加費無料、県内で一番気楽な「創業セミナー」をコンセプトに美味しいカフェ、スイーツをご用意してお待ちしていますので、ぜひ想いだけを持ってお気軽にご参加ください。

<お問い合わせ、お申し込み先>

商工会とやま経営サポートセンター  
〒930-0855 富山市赤江町1-7  
富山県中小企業研修センター4階  
電話:076-441-2717 FAX:076-433-8031  
E-mail:soudan@shokoren-toyama.or.jp

経営サポートセンター  
相談申込フォーム⇒



創業カフェ  
参加申込フォーム⇒



**商工会とやま 経営サポートセンターのご案内**

ご利用5年富山県高所得・非所得者別研修強化事業 これからの経営、新たな一歩を、商工会が応援します。まずはご相談ください!

●補助金活用 ●各種支援制度の説明 ●経営計画策定 ●IT-DX活用 ●販路開拓 ●事業転換・事業再構築  
●新商品開発 ●創業 ●事業承接 ●雇用工連携・地域資源活用 ●経営安定 ●価格転嫁対策  
●BCP(事業継続力強化計画)策定 ●働き方改革 ●インボイス ●その他経営に関すること

**サポートセンター業務内容**  
中小企業診断士等のアドバイザーが中小規模事業者・创业者の標準のお悩みに寄り添い、商工会の経営指導員、関係機関と連携して創業や事業の継続、発展をサポートします。

センターの利用は無料 秘密厳守 専門のアドバイザーが対応!

メール FAX お電話  
センター来所・訪問等のご希望を承ります。

フォームからも相談申込が可能です!  
soudan@shokoren-toyama.or.jp お待ちしています!  
076-433-8031  
076-441-2717

**ゆるゆる創業カフェ**

参加無料

3月6日(水) 19時~21時  
3月9日(土) 10時~12時

開催場所: 富山県中小企業研修センター 101研修室(富山市赤江町1-7)  
受付時間: 月曜~金曜(祝日休) 9時~16時(窓口/電話)

内容: ①お悩みを共有し「経営計画」の作り方 ②お悩みを共有し「ホームページ」の作り方  
③お悩みを共有し「補助金」の活用方法 ④交流会(経営相談)

講師: 中小企業診断士/ 丸亀 隆、堀 悠樹、吉田 智哉

受講料無料! お問い合わせ・お申し込みは下記の商工会とやま経営サポートセンターまで!

経営サポートセンター FAX:076-433-8031  
創業カフェ FAX:076-441-2717

●●富山市ビジネスプラン作成講座●●

センターHPはこちらから⇒



富山市新産業支援センターでは、令和6年度も「ビジネスプラン作成講座」を行います。対象には、起業・創業予定者、経営や起業に興味のある方、新しい挑戦を考えている方も含まれます。

地域おこし協力隊の皆さんもお申し込みできます。

この講座では、

- ① 起業・創業に必要な基本的な知識・ノウハウが学べます。
- ② ビジネスプランの作成を手厚く支援します。
- ③ 「特定創業支援等事業」対象講座で、優遇支援を受けることができます。
- ④ 作成講座開催日以外には、「無料相談」を実施しています。

講座の開催日は、6月5日、6月19日、7月3日、7月17日、7月31日、8月21日の計6回です。時間は、いずれも18:30~20:30です。

参加申込は既に始まっています。ご関心のある方は、ぜひ下記までお申し込み、お問い合わせください。

<お問い合わせ、お申し込み先>

富山市新産業支援センター  
〒930-0871 富山市下野16  
(富山大学五福キャンパス工学部エリア G15 棟)  
電話:076-411-6131 FAX:076-411-7397  
Email:sinsangyo-ut@swan.ocn.ne.jp

セミナー申込はこちらから⇒



**富山市新産業支援センター**

令和6年度  
**ビジネスプラン作成講座**  
~事業を成功に導くプランを~

定員 30名  
(申込受付順)  
参加無料

対象: 中小企業関係者、起業・創業予定者、インキュベーション施設入居者、経営や起業に興味のある方、新しい挑戦を考えている方、大学教員・学生等

**Point**

- ① 起業・創業に必要な基本的な知識・ノウハウが学べます。
- ② ビジネスプランの作成を手厚く支援します。
- ③ 「特定創業支援等事業」対象講座で、優遇支援を受けることができます。
- ④ 作成講座開催日以外には、「無料相談」を実施しております。

**会場** 富山市新産業支援センター4F 研修室  
(富山大学五福キャンパス工学部エリア G15 棟)  
※詳しくは裏面をご覧ください

**講師** 富山市新産業支援センター  
ビジネスインキュベーションコーディネーター等

【ビジネスプラン作成講座 日程・カリキュラム】\*経済産業省の「特定創業支援等事業」の認定事業です。

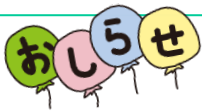
開催日	内容
第1回 2024年 6月 5日(水)	開講式 ビジネスプラン作成の意義【経営1】
第2回 6月 19日(水)	現状把握と事業コンセプト【経営2】
第3回 7月 3日(水)	経営戦略と人材マネジメント【人材育成】
第4回 7月 17日(水)	マーケティング戦略【販路開拓】
第5回 7月 31日(水)	資金計画と収支計画【財務】、効果的なプレゼン手法
第6回 8月 21日(水)	ビジネスプラン発表会、修了式(修了証授与式)

※全日程 18:30~20:30 となります。

※ご参加にあたってのお願い  
●当日体調がすぐれない場合は、ご参加をお控えください。  
新型コロナウイルス感染症等の感染状況により、開催の開催方法を変更する場合があります。  
最新情報は、富山市新産業支援センターHPに掲載いたしますので、ご確認ください。

【主催】 富山市、国立富山大学富山大学  
【後援】 独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸支部、公益財団法人富山県新紀産業機構  
富山県商工会連合会、富山県中小企業団体中央会





～野見山明子さん(上市町隊員)企画イベント～

## 「香りの中の森」

上市町で「香り」体験イベントが行われます。現在、絶賛、予約受付中です!

日時:3月9日(土)～10日(日)10:00～16:00  
場所:眼目山立山寺(上市町眼目15)

### <<内 容>>

- 香り展示「精油の森」&写真展(exhibition)
- 森の香りをきく散歩(tour)
- 香り喫茶去(きっさこ)(tea room)
- 五感を解く座禅体験(zen)
- オリジナルフレグランス・ミストづくり(workshop)
- AROMA SELECT POPUP SHOP



プログラム詳細は  
こちら→



お申し込みはこちら→



### <<お問合せ・お申し込み>>

メール:kami1okoshi.nomi@gmail.com  
電話 :090-9594-2237



## 令和6年能登半島地震 鈴木杏奈さんから支援活動報告

元黒部市地域おこし協力隊の鈴木杏奈(すずき・あんな)さんが黒部青年会議所(JC)のみなさんとともに、七尾市で支援活動を行いました。そのご報告です。

令和6年1月1日に発生をした能登半島地震によって被害を受けられた地域へ、災害支援に行ってきました。富山県には9つの青年会議所があり、日替わりでボランティアへ参加しています。今回は七尾社会福祉協議会より要請があり、私は黒部青年会議所のメンバーとして5名で参加してきました。

2月4日の時点で、依然として七尾市では断水が続いており、ボランティアに参加して現地に迷惑をかけるようなことにはならないよう、踏み抜き防止インソールを用意したり、ボランティア保険に加入したりと、メンバーで事前に話し合い準備をして向かいました。

当日の私の業務は、一般公募で全国より参加されたボランティアさんの送迎と、現場での瓦礫の撤去でした。当日送迎したボランティアさんの中には、神奈川から夜行バスでいらっしゃった方もいました。

私が伺った現場は隣り合った2軒のお家でした。2つのお家を囲むように長いブロック塀があり、ガラガラと崩れてしまっていました。中の鉄筋が丸見えで、ブロック塀もそのまま落ちているような危険な現場でした。

住人の方は、どちらもご高齢の方で足を悪くされており、とても自分たちだけでは撤去が難しい状況です。実際にブロック塀を一つ持ち上げてみると、びっくりするくらい重く、気を抜くと怪我にも繋がるような重さでした。そのため、正直1日でこの瓦礫の山を撤去することは難しいだろう...と感じていました。

ですが、人の力というものはすごいもので、みんなで黙々と、時に声を掛け合いながら瓦礫を撤去していくと、あんなに崩れ積み重なっていた瓦礫がしっかりと綺麗に片付きました。

自分の考えというものもまだまだ未熟であり、人が困難におかかって協力し生まれる力は力強いものだと思改めて感じました。

今後も中長期的な人的支援が必要です。私も自分にできる範囲で、参加していきたいと思います。



黒部および七尾両青年会議所メンバーと



崩れたブロック塀



瓦礫の除去

### ■ 編集後記 ■

令和5年度最後の「かわら版」となりました。一年間、お読みいただきまして有難うございます。

試行錯誤の中、できる限り多くの隊員のみなさんの取り組みを紹介すること、顔が見える記事にすること、隊員のみなさんにとって役に立つ情報を掲載することを念頭に作成してきましたが、いかがでしたでしょうか。

今号では、元黒部市隊員・鈴木杏奈さんの支援活動報告を掲載、また射水市隊員・山田奈津子さんのパートナーさんのお店がある伏木の状況も触れましたが、能登半島地震からの復旧・復興には長い時間を要すると思われます。それぞれの立場から被災したみなさん、影響を受けているみなさんに対する支援を考えていけたらよいと思います。(M)

### ■ お問い合わせ・ご連絡先 ■

富山県 中山間地域対策課 (担当:蟹澤、三上)  
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号  
TEL : 076-444-9605 EMAIL : achusankan@pref.toyama.lg.jp

HPへはこちらからお入りください →

